

「農業ビジネスに新しい風を」

～農山村女性起業家の取り組みに学ぶ～

農山村は東北の主要産業の農業を担っています。人口減少や、震災の影響など困難な状況も多いなか、農山村女性起業家のさまざまな取り組みが地域の元気となり、農業ビジネスに新しい風を送り込んでいます。そこで、今回、地域で実績をあげておられる女性起業家をお招きし、東北が元気になるための方策を考えます。

◆日時：平成25年12月17日（火）13:30～16:30（開場 13:00）

◆会場：プラザおでって「おでってホール」（盛岡市中ノ橋通 1-1-10 電話 019-604-3300）

◆スケジュール

1 講演

テーマ：「夢をカタチに ～東北の農山村女性起業家への期待～」

講師：長谷川 史彦氏（東北大学未来科学技術共同研究センター 教授・副センター長）

◇東北大学大学院修了後、研究所助手を経て、新日本製鐵(株)入社。平成13年東北大学未来科学技術共同研究センター助教授。同17年教授。同20年東北大学教授・総長特命主幹。同21年より現職。地域の活力を高めるために、人と人、人と企業、企業と企業、そして人と地域を結ぶスペシャリスト。

2 パネルディスカッション

テーマ：「農山村女性パワーが作り出す「東北の元気」」

パネリスト 庄司 祐子氏（農場レストラン「穂波街道 緑のイスキア」代表）

◇(株)ジェイファーム代表取締役。結婚を機に移り住んだ地で40歳の誕生日までに起業するという明確な目標を立て起業。山形県鶴岡市在住。

松本 直子氏（りんご畑の中のカフェ「mi Cafe」代表）

◇りんご農家に嫁ぎ家業に従事する一方、岩手山の眺望と農産物を活かしたカフェを起業。店名の「mi」は、実・見・味・未・魅の意味が込められている。岩手県盛岡市在住。

三浦さき子氏（農漁家レストラン「慶明丸」代表）

◇東日本大震災により、店舗、自宅など流出。仮設住宅で暮らすなか地元の方々が集まる場をつくりたいとの強い思いから平成25年慶明丸を再建。宮城県南三陸町在住。語り部ガイド。

アドバイザー 長谷川史彦氏（同上）

コーディネーター 志賀 秀一氏（(株)東北地域環境研究室 代表）

◆定員：先着100名様（参加費：無料） ◆主催：公益財団法人 東北活性化研究センター

◆後援：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

■ お申込は下記にご記入のうえ、12月13日（金）までにFAXにてお送りください。

お申込・問い合わせ先：(株)東北地域環境研究室（担当：島谷）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-1 河西ビル 電話 022-212-1105

※切り取らずこのままお送りください。

FAX 022-212-1106

お名前	
会社、団体名・役職 （お勤めの方）	
ご住所・電話番号	電話番号 () -

※ご記入いただいた情報は、本事業以外には使用いたしません。